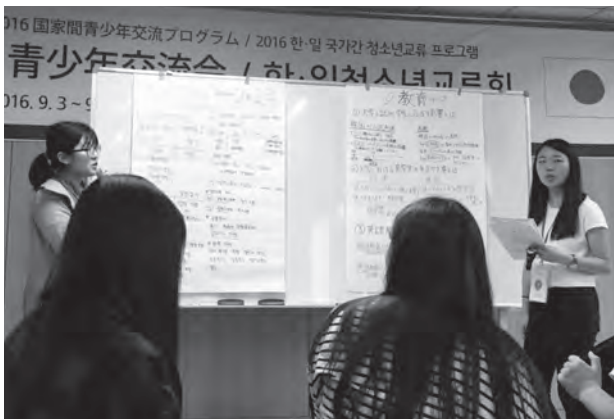


## 1. ディスカッションの概要

日時	9月4日 9:00~15:30	
場所	国際青少年センター(ソウル)	
プログラム名	日韓青少年交流会	
テーマ	<p>&lt;政治・経済&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・米国大統領選挙における日韓両国への安全保障への影響</li> </ul> <p>&lt;教育&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・大学入試が学生に及ぼす影響とは</li> <li>・大学における奨学金制度のあるべき姿とは</li> <li>・英語教育の比較と課題について</li> </ul> <p>&lt;社会&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・両国の学生の就職活動に対する考え方</li> <li>・両国の格差による貧困の現状と対策</li> </ul> <p>&lt;文化1&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・日韓カップル・夫婦の現状と両国の人々の考え</li> <li>・美容整形の現状や身なりから読み取れる国民性の違い</li> <li>・若者のアルバイト事情と問題点</li> </ul> <p>&lt;文化2&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・私たちがレストランを開くならー日韓食文化・慣習比較ー</li> </ul>	
参加者	日本青年24名、韓国青年39名	
スケジュール	9:00- 9:30	オリエンテーション
	9:30-12:00	ディスカッション
	12:00-13:00	昼食
	13:00-14:30	ディスカッション及び成果発表準備
	14:30-15:30	成果発表



## 2. 分科会の概要

テーマ	政治・経済
参加者	日本青年5名、韓国青年6名
トピック	米国大統領選挙における日韓両国への安全保障への影響
進行内容	<p>まず、アメリカの次期大統領選にてクリントン、トランプのどちらかが大統領に就任すると仮定して両国の影響について討論を行った。当初韓国側には安全保障のみが伝達されていたが、日本側ではその他にTPP、対中政策、為替、貿易について調べてきていたため、安全保障以外にも議論した。</p> <p><b>クリントンが就任した場合</b></p> <p>&lt;韓国側の意見&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"><li>・マニフェストがオバマ政権から続行であるため、関係に変化はないのではないか。</li><li>・韓米FTAを再検討する方向であり、自由貿易を加速させようとしている。</li></ul> <p>&lt;日本側の意見&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"><li>・ビジネス面で中国に対しての経済政策を取り締まる方向であるため、中国展開をしている日本の企業や経済に悪影響を及ぼす可能性がある。</li><li>・TPPに対して否定的→為替や貿易に影響？</li><li>・オバマ政権と同意見なため、安全保障においては良いとは言えない。 →日本が戦争可能な国になってしまう。</li></ul> <p><b>トランプが就任した場合</b></p> <p>&lt;韓国側の意見&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"><li>・在留米軍基地の費用負担が大きくなる。</li><li>・共和党が大統領だと韓国から米国への輸出率が高い。</li><li>・韓米FTAが再交渉となる可能性がある。</li><li>・韓国人の米国流入が問題視されているため、白人至上主義のトランプが就任すれば韓国にとって悪影響？</li></ul> <p>&lt;日本側の意見&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"><li>・韓国同様米軍基地の費用負担が懸念される。</li><li>・TPPに対して否定的→為替や貿易に影響？</li><li>・米軍基地を日本から撤退させようという考えのため、集団的自衛権を行使しなくても済む。</li></ul> <p><b>その他意見交換の内容</b></p> <ul style="list-style-type: none"><li>・今のアメリカの経済状況は良いとは言えず、アメリカは自国の将来のために他国を利用しているのではないだろうか。</li><li>・トランプはタレント性がありメディアへの影響力も大きいため、トランプが大統領に就任する可能性も大いにある。</li><li>・クリントンは半分ほどの支持率で高齢層からの支持が低い。</li><li>・日本国民の90%が核武装に反対している一方で、韓国国民が核武装にポジティブな考えを持っているのは北朝鮮と休戦状態だからである。</li><li>・TPPに参加すれば円安が加速し、内需の需要も見込める可能性があるため、日本的には参加することでメリットがあるのではないだろうか。</li><li>・どちらが大統領に就任しても日韓関係にはあまり変化がないに相違ない。</li></ul> <p><b>発表内容</b></p> <p>発表の形式は米国大統領選挙が両国においてどのような影響をもたらすのかを、日本側韓国側からそれぞれ1名を発表者に選出し、互いに電話しながら自国の影響を話し質問し合う、という形で発表した。</p>

1) 安全保障における影響

クリントン	トランプ
日韓への姿勢	
<ul style="list-style-type: none"> <li>・従来韓米、日米関係の維持</li> <li>・日韓の核武装に否定的</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・在留米軍基地の費用全負担</li> <li>・日韓の核武装を支持</li> </ul>

2) 貿易における影響

クリントン	トランプ
日韓への姿勢	
<ul style="list-style-type: none"> <li>・韓米FTA全面再検討</li> <li>・TPP賛成→反対</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・韓米FTA再交渉</li> <li>・TPP全面反対</li> </ul>

## 政治・経済グループ感想

及川 あかね

私たちのグループでは「アメリカ大統領選挙の結果における日韓両国の安全保障への影響」というテーマのもとでディスカッションを行った。2017年1月、アメリカで新たな大統領が誕生する。日本と韓国の同盟国であるアメリカは両国の安全保障に重要な役割を果たしており、大統領選挙の結果により及ぼされる影響について知ること互いの国についてより深く理解できるのではないかと考え、このテーマを選択した。

私たちはディスカッションの本番に向けて一か月前から準備を始めた。十分な内容の議論を行うため、また「政治・経済」というテーマを取り扱う私たちには特に正しい知識や適切な情報をもとに議論を行うことが求められていたためである。1か月間で計4回のSkypeミーティングを行い、テーマについて意見を交換し合った。メンバー一人一人に担当を決めてディスカッション資料を作成し共有することで、短時間でグループの全員が深く幅広い知識を身につけられるように工夫もした。

当日のディスカッションでは韓国青年たちと互いに白熱した議論を交わすことができた。在留米軍基地問題ではアメリカの大統領選挙の結果により日韓両国に大きな影響があることを確認、共有した。また、核の保有問題

に対しては日韓の国民の間で大きな差が生じていることが明らかになった。日本の世論調査では核保有に否定的な意見が多くある一方、韓国国民はある程度核保有に肯定的な立場である。これは韓国が現在も北朝鮮と休戦中であり、核の保有は自国を保護するための一つの手段として考えられるためであった。アメリカと日本、韓国との貿易関係についてはTPP、FTAへの影響について議論を行った。これらの貿易協定において日韓両国は自国の内需発展や輸出拡大を目指しているが、今後はアメリカの保護貿易を中心に進んでいく可能性があるということ意見をもとめた。

3時間という短い時間ではあったが非常に有意義なディスカッションを行うことができた。ディスカッションを行う際、政治・経済というテーマは内容が固く難しい印象があるため敬遠されがちである。しかし、今回のディスカッションを通じて、普段の交流ではあまり知ることのできない韓国青年たちが考えるリアルな韓国の政治、経済について知ることができた。このような経験は互いの国をさらに深く理解していくための大切な一歩になるであろう。

テーマ

教育

参加者

日本青年5名、韓国青年5名

### トピック

#### 大学入試が学生に及ぼす影響とは

##### 1. 韓国での現状

- ・韓国では最近、より多くの人に大学に行くチャンスを与える風潮がある。
- ・日本と同じように、推薦入試制度（スシ）と一般入試制度（ジョンシ）がある。
  - 推薦入試は多くの種類がある。（帰国子女推薦、指定校推薦、AO入試、特別入試、技術をもった人を推薦する制度など）
  - 一般入試では、センター試験と似たような修能試験（スヌン試験）を受け、その成績で入れる大学が決まる。試験の結果と合わせて学校の成績を見る大学もある。成績優秀な学生は優先的にいい大学に入れさせたいという風潮。
- ・韓国ではセンター試験（スヌン試験）の内容が毎年変わり、水準も高くなっているため高校生はより勉強しなければならない。外国での入試制度を取り入れる傾向がある。政権が変わると入試制度も変わりやすい。
- ・一般入試と推薦入試の受験する割合は毎年変わるため、入試の準備が非常に大変である。現在で約5:5の割合で一般入試と推薦入試を受ける人が分かれている。
- ・韓国の高校生はセンター試験をほぼ全員が受ける。（推薦入試の結果が出るのが、センター試験の後になるため）

##### 2. 日本での現状

- ・日本では高校受験があり、高校ごとのレベルが違い、それによっても大学の推薦（指定校推薦）が違う。
- ・入試制度としては、推薦入試と一般入試がある。
  - 私立大学の入学者の約5割の人が推薦入試を利用している。国立は少ない。
- ・日本の高校生は全員がセンター試験を受けるわけではない。
- ・高校の指導要領が変わると、センター試験が変わる。

##### 3. 学生に及ぼす影響

- ・韓国では高校受験がなく地域の高校に通うため、教育にむらがなく、みんながセンター試験に向けて同様に勉強できる。
- ・日本では高校受験があり、さらに高校によって特色（進学校、部活動、文化祭、体育祭など）があり高校での日常生活がそれぞれであるため、入試に対する影響や考えも変わる。

### トピック

#### 大学における奨学金制度のあるべき姿とは

##### 1. 韓国の現状

- ・学校内奨学金と学校外の奨学金（給付形のみ）があり、貸与型を韓国では「学資金」という。
  - 学校内の奨学金は成績によって決められる。（中学、高校では70%の授業料免除）また各教科で成績優秀者にも奨学金がある。※学校によって基準が異なる
  - 学校外の奨学金は様々な団体が運営している。学校の成績書の提出で学期ごとに判断される。国家奨学財団では、低所得者に多く奨学金を給付している。この財団は税金で運営されているため公務員の家庭は奨学金を受けられない。財産を低く偽り、奨学金を借りる人もいる。
  - 学資金も主に財団が運営しているが、銀行でも行っている。銀行だと返済利子が高く、中々借りられない。学資金は生活費や学費に充てるケースが多い。財団から借りた場合、就職後に返済となるが利子が少なく、低所得者でも借りやすい。

##### 2. 日本の現状

- ・日本の奨学金は大学卒業後に返還する「貸与」型と、返還の必要がない「給付」型がある。

###### 主な奨学金制度

→①日本学生支援機構（旧：日本育英会）

第一種奨学金（無利息）と第二種奨学金（利息付）があり、どちらも返還の必要がある。

→②大学独自の奨学金制度

主に私立大が独自に設けており、貸与型、給付型の両方がある。

→③地方自治体の奨学金制度

自治体が設置している奨学金で、保護者がその自治体の住民であることが条件になっているところが多い。貸与型、給付型の両方がある

- ・34歳以下の奨学金利用者（第1種が4割、第2種が6割）が53.2%で二人に一人が借りている。
- ・理由：家庭の経済的負担を軽くするためや、学費や生活費の一部にする人が多く、そのうちリスクを十分に理解せずに借りている人が4割強いる。返還の期限を猶予する制度があることも3割以上が知らずに利用している。
- ・借り入れの総額の平均は312.9万円で、月の返還額の平均は1.7千円。また、借り入れの総額が500万円以上の人でも1割いる。そのような人たちの4割は月に3万円以上返還している。また、親が返還している場合も1割ある。
- ・雇用別アンケートの結果、「奨学金の返済が苦しい」と応えた比率は正規が36.8%、非正規が56.0%。
- ・奨学金の使い道として、学費として支給されても生活費として使う人もいる。

### 3. 上記現状を踏まえた上での意見交換の内容

- ・韓国は学資金が直接学校に支払われるため、日本のように自由に奨学金の使い道を決められるのは良い。
- ・韓国では最近低所得者に対してよりケアをする必要があるという考えもある。
- ・学生のモチベーションになるため、成績で判断する奨学金もいかしていく必要がある。  
→やはり低所得者だけでなく、成績優秀者両方にバランスよく奨学金を与えるべきである。

## トピック 英語教育の比較と課題について

### 1. 韓国の現状

- ・韓国では英語教育が小学校から義務化されている。  
→内容：アルファベットと少しの英会話
- ・中学から本格的に授業が始まる  
→文法、単語、文章読解ばかりである。OC（英会話）の授業では、クラス30名に対して外国人の先生が一人しかつかない。
- ・KBSの調査で英語が重要だという人は200人中121人。
- ・韓国の大学生は留学や自分の時間を作るために休学する人もいる。

### 2. 日本の現状

- ・中学一年生から英語の授業が義務化されている。
- ・高校では1週間に6時間英語の授業があった。  
→週に1時間あるOC（英会話）の授業では、クラスの人数約40名に対して、外国人の先生が一人であるため、全員が英語を話すのは難しい環境である。  
→残りの5時間は、文法、単語、文章読解、教科書の和訳など、「読み」「書き」ばかりで英語で「話す」機会がない。
- ・現在の大学入試制度として英語での面接はなく（AO入試、帰国子女を除く）、一般入試の英語だと「書き」「リスニング」「読解」がメインとなるため、それに対する入試対策を中学・高校で勉強する。

### 3. 上記を踏まえた上での意見交換内容

- ・両国共に、英語で実際にコミュニケーションを取るカリキュラムを作るべきである。
- ・韓国のように休学を躊躇しない日本人が増えるとよいのではないか。  
→例：大学時代に留学がしやすくなる

# 教育グループ感想

村田 来美

私たち教育チームは、①大学入試の影響、②奨学金制度のあるべき姿、③英語教育の比較と課題という三つの小テーマでディスカッションを行った。初めに有意義なディスカッションを行うために、私たちは自主研修中に、各自で分担して、日本の教育制度や英語教育、日韓の高等教育費用などについて調べ、勉強した。それだけでなく、各自で勉強したことを定期的にLINE電話を利用して、共有し合ったり、またそれを1冊の本にまとめたりした。そうすることで、他のメンバーが勉強した内容を読むことで、自分がカバーできていない部分を理解することができた。実際、ディスカッション時も、事実と自分の考えを分けて話すことができ、この準備方法は非常に良かったと感じている。

ディスカッションを通して、抱えている問題は日韓ともに大よそ同じであったと感じたが、そのものの認識やシステムが日本と韓国と違うことが分かった。例えば、奨学金制度に関して、日韓はそもそも「奨学金」が

表わす意味が違っていった。日本は返さなければいけない借り入れ型と、返さなくてもよい給付型をまとめて奨学金という。一方で、韓国は返さなくてもよいものを奨学金といい、返さないといけないものを学資金の借り入れという。この違いには本当に驚いた。そのような日韓の現状を話し合っていると、成績優秀者がもらえる奨学金と、家庭の経済状況に応じてもらえる奨学金はどちらも必要で、そのバランスが大切であるという結論に至った。

今回、「教育」という比較的分かりやすいテーマでディスカッションして、まずお互いの現状を自身の経験を交え、話し合いながら、各自気になったことを質問したりして、日韓の共通点や相違点を話し合ったりした。良い雰囲気の中でディスカッションができたのではないかと思う。また、ディスカッションを通して、普段の会話からでは分からない韓国のリアルな現状を学ぶことができて良かった。

テーマ	社会
参加者	日本青年4名、韓国青年7名
トピック	両国の学生の就職活動に対する考え方
1. 韓国の現状	<ul style="list-style-type: none"><li>・就職難である。</li><li>・選考の際、本人のスペック（ボランティア経験、語学能力、所持資格等）が重視される。</li><li>・半年～1年あまりで転職する人が多い（向いていない仕事は早々に辞めた方がよいという考え方がある）。</li><li>・自分にその仕事に向いているかどうかを大事だと考える人が多い。</li><li>・大学での成績が重視される。</li><li>・外見も重視されるため、就活用の美容整形外科もある。</li></ul>
2. 日本での現状	<ul style="list-style-type: none"><li>・就職先を選ばなければ、就職すること自体は難しくない。</li><li>・選考の際、コミュニケーション能力を最重視される。</li><li>・転職するには最低3年以上働く必要がある（3年も耐えられない人は適応性がないと判断される。早々に辞めた場合は履歴書に汚歴として残る）。</li><li>・終身雇用が基本である。</li><li>・大学での成績はあまり重視されない。</li></ul>
3. 両国の共通点	<ul style="list-style-type: none"><li>・大学のブランドが重視される。</li></ul>
4. 上記現状をふまえた上での意見交換の内容	<ul style="list-style-type: none"><li>・韓国人からすると、転職するために3年間耐えなければならないのはつらいと感じる。</li><li>・日本人からすると、就職先を選ぶ際、仕事のやりがいより高収入なところを優先するところに韓国の就活の厳しさを感じる。</li></ul>

## トピック 両国の格差による貧困の現状と対策

### 1. 韓国の現状

- ・高齢者の貧困が深刻である

### 2. 日本での現状

- ・子供の貧困が深刻である。
- ・若者の投票率の低さが原因で、高齢者への福祉が厚くなっているため、若年層への支援が疎かになっている。

### 3. 両国の共通点

- ・育児と仕事の両立が困難である。
- ・残業が多い。

### 4. 上記現状をふまえた上での意見交換の内容

- ・育児休暇を法制化してほしい。
- ・育児のための財政的な支援が必要である。
- ・残業の基準を定め、家族と過ごす時間を増やしてほしい。

## 社会グループ感想

山中 光恵

私たちのグループでは「両国の学生の就職活動に対する考え方」、「両国の格差による貧困の現状と対策」というトピックのもと、両国の現状や問題点、また解決策について議論を行った。

初めに、毎年反省点に両国青年の準備の差がディスカッションに影響を与えているということを知った私たちは、自主研修期間における事前準備の重要性をグループ内で共有した。私たちは現地で韓国青年と活発な議論を行うために、グループ内でトピックごとに担当を割り振り、各自が調べた内容をレジュメとして共有することに決めた。これを毎週行うことで自主研修期間中に、より充実した議論の準備をすることができた。

実際に議論を行ってみると、私たちが事前に調べるだけでは知り得なかった「現実」を知ることができた。さらに、実際に韓国青年から話を聞くことで、それぞれの問題をより身近に感じることができた。就職活動のトピックは、グループ内の大半が就職活動を間近に控えていることから、関心を寄せるメンバーが多かった。韓国では就職活動までに資格を取得することが優先され、特に語学試験においては高得点をとることが絶対条件であると分かった。そのために休学する学生も多く存在し、

日本とは大きな違いがあった。格差のトピックでは、両国で少子高齢化がポイントとなっており、日本では子供の貧困が深刻な一方、韓国では高齢者の貧困が深刻であることがわかった。両国とも同じ問題を抱えながらも、そこから発生する影響は正反対である。日本で当たり前前の状況が韓国では当たり前ではなく、自国の現状を見つめなおすきっかけとなった。

ディスカッション終了後、成果発表のために議論の内容を一つの模造紙にまとめる作業を行った。両国の青年で一つにまとめ上げるという行動が、国と国の差異を越えて協力し合うという貴重な時間を作り出してくれた。ディスカッションを通して私たちの中で日韓友好がまた一歩進んだように感じる。だがそれは両国の青年が真剣に語り合い、互いの国をより良くしていくための解決策を練るなど、多くの段階を経て実現したものだといえる。約4時間のディスカッションで、私たちは韓国青年との交流で重要となる、相手国の背景を知り、理解するという大切な時間を過ごした。この機会を成功として終わりにするのではなく、韓国についてさらに理解を深めるきっかけとしていきたい。

<b>テーマ</b>	文化1
<b>参加者</b>	日本青年5名、韓国青年8名
<b>トピック</b>	日韓カップル・夫婦の現状と両国の人々の考え
<b>1. 韓国での現状</b>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・親世代が日本に対する悪いイメージを持っている。</li> <li>・まだ儒教の文化が残っている。</li> <li>・単一民族なので保守的で外国人を受け入れない雰囲気がある。</li> </ul>
<b>2. 日本での現状</b>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ドラマやSNSなどから韓国人男性や日韓カップルに憧れる女性が多い。</li> <li>・韓国よりは国際結婚を受け入れる雰囲気があるが、中には韓国人との結婚を受け入れない親もいる。</li> </ul>
<b>3. 上記現状をふまえた上での意見交換の内容</b>	<p>日韓カップルでは日本女性と韓国男性、夫婦では韓国女性と日本男性の組み合わせが多い。カップルと夫婦では組み合わせが反対である最大の理由は、韓国の男性は韓国に残り親の面倒を見る必要があることによると考えられる。韓国では女性は結婚後夫の家族に属し夫の家族の文化や習慣に従わなければならないが、日本では結婚すると独立した家庭を築く。そのことから韓国の女性にとっては韓国人男性と結婚するよりも日本人男性と結婚するほうが楽なのではないかと考えられる。</p> <p>近年SNSや韓国ドラマなどの影響で韓国人男性や日韓カップルに憧れる日本人女性が多くいる。一方で韓国男性の中には、ドラマなどから日本の男性は女性に優しく一途であるというイメージを持ち、もし自身が女性であったら日本人男性と付き合いたいと考える人もいる。</p> <p>韓国では親世代が日本に対する悪いイメージを持っていることが多く、それにより日韓のカップルや夫婦は反対されることが多い。また、韓国は単一民族であることから国全体として保守的で外国人を受け入れられないような雰囲気がある。参加青年で自分は相手国の人と結婚することができるかどうかという問いが上がり、「結婚できない」と主張した韓国青年の中には「結婚を考えたときに外国人と結婚することで生じる困難を乗り越える苦勞をしたくない。平凡な生活を送りたい」という意見を持つ人や、「細かい文化の違いや、外国人と結婚してどちらの国に住むのか、職はどうするのかなど様々な問題がある」という意見が上がり、「結婚できる」と答えた日本人青年からは「自分が好きな人なら韓国人でもいい」という意見が上がった。それらの意見から、日韓カップルや夫婦に対して反対する理由はそれが日韓の組み合わせだからというわけではなく、国際結婚自体の問題によるものだといえる。</p>
<b>4. 発表の内容</b>	<p>日韓カップルについては、SNSやドラマなどによる偏った「憧れ」の形成が日本人女性の中で広まっており、実際に韓国人男性と関わってみてもイメージ通りの優しい人が多いという意見が多かった。また日韓夫婦については、日韓間で経済的、文化的、歴史的な違いがあることから実際に生活していく上では困難な状況が多いだろうといえる。結婚については本人同士の問題だけでなく、親からの反対や物理的な国と国の距離という問題もある。</p>
<b>トピック</b>	美容整形の現状や身なりから読み取れる国民性の違い
<b>1. 韓国での現状</b>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・整形したことについてオープンで、隠す方が恥ずかしいと考えられている。</li> <li>・芸能人が整形に対してオープンになったことがきっかけとなり、一般的にもオープンになるようになった。</li> <li>・一部だけ整形するのではなく、完全に別人に整形するのが最近のトレンド。</li> <li>・整形を煽る雰囲気がある。</li> </ul>
<b>2. 日本での現状</b>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・親からもらった体に傷をつけることは良くないことであると捉えられている。</li> <li>・メディアでも整形が批判されている。</li> <li>・整形したことが知られると社会的に批判される傾向にある。</li> <li>・整形によって綺麗になることが良いことだと捉えられていない。</li> </ul>



### 3. 上記現状をふまえた上での意見交換の内容

韓国人にも整形することには抵抗があるものの、整形したことによって綺麗になるならば良いという雰囲気があり、広告や周囲の人々が整形を煽る傾向にある。それによって整形をしなければならないと思ってしまう人もいる。

また、韓国ではみんなと違うことはダメなことだと考える雰囲気があり、ある美の基準についていく傾向がある。もちろんやりすぎや依存は良くないが、欲張りすぎない程度に綺麗にするなら良いと考えられている。それは単純に綺麗になりたいという思いと、男性に綺麗だと思われたいという気持ち、人々に好感を与えるような顔になりたいという思いからくるものであるといえる。

韓国では昔は今の日本同様、整形したことを隠す傾向にあったが、芸能人がオープンになったことで一般的にもオープンになり、社会全体として受け入れるようになった。

日本では、親からもらった大切な体に傷を入れることにはかなりの抵抗がある。社会全体として整形によって理想の自分になることや美しくなることが良いこととは捉えられておらず、整形したことは批判されることが多い。また韓国とは反対に、芸能人も整形したことを隠し、ばれると社会的に批判されてしまう。

ある韓国青年からは、日韓で整形に対する認識や社会的な雰囲気は異なるが、表現方法が異なるだけで綺麗になりたいという気持ちは同じではないか、という意見が上がった。日本人は服装やふるまいによって人々の好感を得て、韓国人は人々の好感を得るような綺麗な自分になるためなら整形も一つの手段として選ぶことがあるのだろうといえる。

### 4. 発表の内容

日本では親からもらった体に傷をつけることに抵抗があり、保守的である。整形についても良くないことだから隠すという傾向にある。韓国では人々に信頼感や好感を与えるようなスタイルに合わせ、ちょっとした整形なら気軽にしても良いという整形を積極的に行い受け入れるような雰囲気がある。日韓で手段は違うが、綺麗になりたいという気持ちは同じである。

## トピック 若者のアルバイト事情と問題点

### 1. 韓国での現状

- ・賃金がかかり安く、最低賃金さえも下回る場合も多い。
- ・法律で定められた労働時間が守られていない。

### 2. 日本での現状

- ・小遣い稼ぎのため、大学生のほとんどがアルバイトをしている。
- ・学生なのにアルバイトがメインの生活になってしまう。
- ・ブラックバイトが問題になっている。
- ・法律で定められた労働時間が守られていない。

### 3. 上記現状をふまえた上での意見交換の内容

韓国では日本（東京）の最低賃金910円に比べ、6,000ウォン（約600円）と賃金がかかり低く、店や店主によっては最低賃金さえも守らないところもあり、問題となっている。雇い主が最低賃金やそれ以下の賃金でアルバイトを雇うことに抵抗がなく、客の数によってはさらに低い賃金でも良いだろうと考えることが多いことから、雇う側の認識の問題があると考えられる。

韓国の学生は低賃金で雇われるくらいならアルバイトに時間を費やすのは時間の無駄だと考える傾向にあるため、アルバイトをしない学生も多い。また、平日に少しずつ働いて稼ぐよりも、休日や休暇を利用して一気に稼いだ方が良いと考える人が多い。また、お金を稼ぎたい気持ちはあったとしても、低賃金で雇われ大学の成績が悪くなるくらいならアルバイトはしないという考えの学生が多い。

家庭教師のアルバイトは時給25,000ウォン（約2,500円）と日本同様かなり高く、ホテルや週末などにする短期のアルバイトも時給が高く人気がある。しかし大抵のアルバイトは最低賃金やそれ以下の場合が多く、現実的にはそれらの問題を解決することが難しい。

日本では法律で定められている労働時間が守られないことが多く、それに対する法的な措置が行き届いていない状況となっている。大学生の多くがアルバイトをしているが、なかには違法な労働時間を課せられるブラックバイトもあり、それにより学生生活や人間としての最低限の生活さえも送れなくなってしまう人も出てきていて、問題となっている。

#### 4. 発表の内容

韓国ではアルバイトの賃金がかなり低く、最低賃金さえも守られていない状況にある。一方日本では賃金は韓国よりも高いものの、法律で定められている労働時間が守られていない場合が多くあり、どちらの問題も法的な措置が十分に行き届いていないことが原因だと考えられる。それらの問題の解決には第三者による仲介が必要であると考えられる。

## 文化1グループ感想

山口 このみ

私たちは自主研修期間中、三つの議題を5人でそれぞれ振り分け調べてきた。途中、近況報告をするためスカイプで三つの議題についてそれぞれ調べたことを報告し合い、疑問に思うことや意見を出し調べた内容に肉付けをしていった。インターネットや自身の経験をいかして当日までに準備を進めた。

国際結婚に関する議題では、様々な意見が飛び交う中で目立ったのが歴史問題や文化の違いであった。国際結婚が難しいことは全員理解していたが、特に日韓夫婦となると歴史問題に対する認識の違いをどう受け取るかによって夫婦になれるか、あるいはカップルだけで終わってしまうのか分かれてしまう。私たちがどうにかできる問題ではないため、最終的に日本人に歴史を正しく理解してほしいという少し逸れた話になってしまったのが残念だった。しかし、それほど結婚において大事なことであることを実感した。

美容整形に関する議題ではそれぞれの国民性が出ておもしろかった。韓国はみんなと違うと劣等感を感じてしまうらしく、整形した顔も同じような雰囲気になり、服も流行ればみんな同じ物を着る。たしかに韓国に

行けばみんな同じような服を着ている。ネットで見るモデルはみんな同じような顔をしていて、外見に個性を見出す日本人にとってはなぜ皆同じようなスタイルになるのか疑問に思う人が多いかもしれない。日本人は整形より服装や髪型で個性を出すため、綺麗になるための方法はその国の国民性によって異なることが分かった。

アルバイトに関する議題では問題点は両国にあるものの内容が少し違った。日本は労働時間が問題になっているが、韓国はそれ以前に賃金がきちんと払われないという問題がある。日本で賃金が払われないとなると大問題であるが、韓国ではそれが普通になりつつあり、労働者が諦めていることに驚いた。韓国の大学生がアルバイトをあまりしないのは条件の悪さにある。労働時間は日本の学生と大差はないものの賃金があまりにも低すぎて身体的にも精神的にも危険だと思った。最低賃金を法律的に上げても実際には最低賃金を下回る時給で働かされているため、その問題を早急に改善してほしいと思う。

今回のディスカッションでは日韓の国民性の違いや環境により生じる違いなど様々な相違点が見られ、改めて両国の文化が大きく違うということを実感した。

テーマ	文化2
参加者	日本青年5名、韓国青年7名
トピック	私たちがレストランを開くならー日韓食文化・慣習比較ー
食文化を中心に比較・理解した上で、差異を超えた新しいものの創出を目的とした観点から、日韓両国の青年が集まってレストランを開いたらという仮定を設け、討論を行った。	

## 日本と韓国の食文化・慣習比較

### 【食トレンド&食文化】

#### <相違点>

日本	韓国
<ul style="list-style-type: none"> <li>・クロワッサン+ドーナツを組み合わせたクロフィンなどのハイブリッドフード</li> <li>・B級グルメなど各地の伝統料理（例：B級グルメコンテストなど）</li> <li>・駅弁などその地域特有の地方グルメ</li> <li>・コンビニごとに得意な分野があり、それに合わせてコンビニを選択（例：ローソンのスイーツ）</li> <li>・ひとりご飯用のシステムが発達（例：食券など）</li> <li>・すし、しゃぶしゃぶ：素材そのものの味をいかす／日本は島国という特性ゆえに日本発祥は少ない（ラーメンやカレーも違う）／弁当／ダシをとるのも特徴／どんぶり 混ぜない</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・グルメ番組により右肩下がりだった外食産業が回復</li> <li>・デリバリーアプリが発達し、韓国全土どこでも注文可（スマートフォンで決済まで可能）</li> <li>・日本ほどではないが、ひとりご飯できる環境増加&gt;&gt;シェアして食べるという文化的背景の変化</li> <li>・SNSで飲食店の情報を発信→サービス提供</li> <li>・コンビニ弁当が著名人とコラボするなど多様化（コラボした人の名前をつけた造語も登場）。</li> <li>・「ユッケ&amp;サーモン」「コブチャン」など決まったメニューの食べ放題のお店が雨後の筍のように登場。</li> <li>・年配者が好んだメニューを若者向けにアレンジする飲食店が増加。</li> <li>・キムチ／ビビンバ・韓国風かき氷 混ぜてこそ美味／味付けの要（味噌、醤油、塩辛）／発酵食品が多い／皆でシェア</li> </ul>

#### <共通点>

<ul style="list-style-type: none"> <li>・スーパーフードや、ココナッツオイル、またはサラダやフレッシュジュースなど健康志向の食品が人気。</li> <li>・SNSの発達により、味だけでなく見た目のインパクトも重要。</li> <li>・銭湯食堂やフラワーカフェ、学校居酒屋や駄菓子バーなど、独特なテーマで統一されたアトラクション的飲食店が人気。</li> <li>・庶民でも手が届きそうな「少しだけ高級なもの」が流行（高級キンパや金の食パンなど）。</li> <li>・地方ごと、家庭ごとの味がある（地方の観光産業にも影響あり）。</li> </ul>
--

### 【食事マナー・生活慣習】

#### <相違点>

日本	韓国
<ul style="list-style-type: none"> <li>・箸や食事のマナー（横向きに置く、テーブルに直接おかない〔箸置き、皿の上〕、箸に関する決まりが多い〔はしわたし、ねぶりばし、そらばし、にぎりばし、まよいばしetc〕）</li> <li>・座り方（正座、あぐら（男性のみ））</li> <li>・お酒（お通しシステム、飲み放題、飲食店での喫煙、種類が豊富etc）</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・箸や食事のマナー（縦に置く、箸〔おかず用〕もスプーン〔ご飯・スープ〕も使う、しきたりに関して儒教の教えが影響）</li> <li>・座り方（あぐら・片膝女性もOK〔伝統衣装チマチョゴリの影響〕）</li> <li>・お酒（飲み干したらつぐ、一人で飲むのはNG、乾杯は飲むたび、年配の方の前では横向きetc）</li> </ul>

#### <共通点>

<ul style="list-style-type: none"> <li>・しきたりに合わせた並び順が大事（縁起が悪い並び方／お葬式の時の並び方）</li> <li>・麺を食べるときの「音」（韓国ではグルメ番組の影響で変化した）</li> <li>・ひとりご飯の増加（個人空間を大事にする都市的思想の影響）</li> <li>・喫煙者に対する社会システムの変化</li> </ul>
---

## 発表内容

発表に向けて日韓両国相手国のしきたりをどのように取り入れるか、上手く入れるためにはどうしたらいいかという枠固めを慎重に討議し、日韓青年が共同運営するレストラン「ヨリジョリ（意味：あれこれと/日本語の「料理」と「調理」を韓国語にすると「ヨリ」と「ジョリ」であったことからつけたチーム名）」を、交流会に参加している青年たちに対し、日本支店、韓国支店での新メニュー・新ルールに関する発表を行った。

韓国支店：日本スタイルをそのまま楽しめるように工夫を凝らした日本料理

日本支店：韓国スタイルをそのまま楽しめるように工夫を凝らした韓国料理

日韓両国支店マネージャーが商品説明をするという形式で、挨拶「いらっしゃいませ」と「オソオセヨ」から始めるなど工夫を凝らした発表をすることができた。

## 文化2グループ感想

荒井 奏絵

私たち文化2グループでは、日韓青年が集まって話し合うことで限定的な結論を出すのではなく、創造的に新しい私たちにしか出せない結論を出そうという視点で、「一緒にレストランを作るなら」という仮想を立てディスカッションを行った。

事前学習はまず扱う部分を大きく (1) 日本と韓国の食文化比較 (2) 日本と韓国の食トレンド比較 (3) その他（食器・マナー・味覚の地域差・伝統家屋の違いなど）に分け、さらにそのカテゴリの中でも小カテゴリを五つ設け、各自担当を振り分けた。私たちのグループの事前学習の位置付けとしては、討論をする際に話がスムーズに滞りなく進むような潤滑油的な学習であったが、各々が引き受けた範囲を学習しながら韓国の文化は勿論、自国の文化に関しても知見を広められたように思う。また各々住んでいる地域が違ったため、事前学習で得た情報共有の際に、「あ、自分の住んでいる地域はこうだ！」などと日本国内での地域差についても改めて知ることができた。

ディスカッションは、「私たちがレストランを開くなら」という想定下で、まず両国の食トレンドを比較しながら、食文化の違いなどを比較することから始めた。比較していく中で、異なる点は勿論だが、共通している点を多く見られた。例えばSNSの普及により、味だけでなく見栄えのいい、写真写りのいいグルメが人気だという点や、海外セレブの影響で健康志向のグルメが流行している点が挙げられた。

続いて日韓の食事の際のルールやマナーの話を通じて、日韓の生活慣習に関しても話が広がった。箸を置く方向の違いや、目上の人がいる時の食事の仕方、座り方、お酒のマナー、喫煙マナーなど、何一つとっても些

細な違いがあり、その違いが全て文化の違いから起こるものだという事に気付けた討論になった。そして日韓両国の代表料理について比較しながら、私たちがレストランをする際のメインメニューに関して話した。代表料理を見ながら、日韓の料理に大きく差異が見られたのは、「美味しさ」の定義だった。日本では素材そのものの美味しさをいかし、ダシのシンプルな味付けで「美味しい」状態を追求するが、韓国の場合は食材を混ぜ合わせた時に最も「美味しい」状態を追求する。そんな根本的な食材に対する姿勢から異なっていた。

私たちのグループ名「ヨリジョリ（意味：あれこれと/日本語の「料理」と「調理」を韓国語にすると「ヨリ」と「ジョリ」であったため付けられたチーム名）」をレストラン名に、韓国支店と日本支店で代表料理メニューを一つ考え、レストランの新商品発表のように工夫を凝らし発表を行った。韓国支店では韓国人のための日本料理を考え、日本支店では日本人のための韓国料理を考えた。その際に重要なのは、味付け・盛り付け・マナーなどで韓国支店は日本スタイルを維持し、日本支店は韓国スタイルを守ってメニューやレストラン形式を構築した。こうすることで両国の文化の差異を視覚化しながら、共通点もわかり易くまとめることができた。

ただただ「美味しい」と通り過ぎていた料理を通して、両国の文化の違いと共通点、そして生活慣習の違いと共通点も知ることができ、両国理解の足掛けにちょうどいい討論ができた。両国の間のどんな些細なことをとっても、どうしてそうなったのかをたどっていくと伝統的な慣習の違いが関連しており、知的好奇心をくすぐられるいい時間になった。